



1. 携帯電話用のヒンジ。月産約1,000万個は世界シェアの5割を占める 2. 腕時計の秒針を動かすためのギア 3. 女性も製造現場で活躍している 4. ハイレベルな成型技術を支える金型加工機械

The Management Data File
経営者データファイル

お名前..... 関 聡彦
生年月日..... 1969年2月23日
新潟県 生まれ
身長..... 174cm
体重..... 78kg
平均睡眠時間..... 5時間
平均起床時間..... 午前6時

趣味..... ドライブ
乗っている車..... M3
家族..... 妻と子ども2人
今までに訪れた国..... 14カ国
購読雑誌..... 日経ものづくり
今日の財布の中身..... 80,000円
好きな食べ物..... 魚
嫌いな食べ物..... くじらの脂身

モノづくりは世界へチャレンジする
最短で最高の方法です。

ぜひ、若い人にチャレンジしてもらいたい。

精密プラスチック成形に特化して成長を続ける八海クリエイツグループ。携帯電話、デジタルカメラ、DVDプレーヤーなど時代の先端をいくデジタル家電に大量の部品を提供しながら、高い精度とクオリティを確保している。社長の関聡彦は、「チャレンジ」を合い言葉に事業を推進、2004年にはタイに現地法人を設立し、現在、新たな市場開拓を目指して突き進んでいる。

株式会社エイテックス
(八海クリエイツグループ)
代表取締役社長

関 聡彦

せき あきひこ



精密プラスチック成形のリーディングカンパニー

新たな出会いを求め、チャレンジを続ける



Profile 関 聡彦 (せき あきひこ)

1969年、新潟県生まれ。埼玉大学経済学部経営学科を卒業後、(株)三井ハイテックに入社。1996年、国際大学に入学しMBAを取得。1998年、八海クリエイツ(株)に入社し、2001年に代表取締役社長に就任。10年後には精密プラスチック分野で世界のトップになることを目指している。

小型精密部品の量産でデジタル家電を支える

——まず簡単に御社の事業内容を教えてください。
関：主な事業は精密なプラスチックの成形で、小型部品を扱っています。金型の設計・製作から成形まで一貫した生産体制を確立しています

ました。何十回と同じカウンターに並びましたね。
また、ラトビアではピザがなくて不法入国扱いされてしまったのですが、そこでも粘りに粘って出国の許可をもらいました。そのとき「あきらめずに頑張れば、なんとかなる」と学びましたね。

新たな出会いのためにも会社と自分を成長させたい

——社長に就任してからの大きな決断は何ですか。
関：社長に就任して3年ほどは人の話を聞くことに集中していました。4年目となった2004年にタイ進出を決めました。その際、実務をすべて知っておきたいと考え、コンサルタントなどを使わず、すべて自分で手配しました。そのため、政府関連の事務手続きで交渉相手を信用しすぎて予定が遅れました。そのときはしつこいほどのチェックが必要だと痛感しました。

社長に就任して良かったことは何ですか。

関：やはり、社長になるといろんな人に会えるので、それが本当に楽しいですね。大企業の幹部だけでなく、様々な個性のある人との関係が広がり、多くのことを学んでいます。これから新たな出会いを増やすためにも、会社と自分を成長させたいですね。

また、企業は雇用を確保して、利益をあげて税金をきちんと納めることが基本であり、責務だと思っています。そのためにも成長は必要、そして成長を続けるためには、チャレンジし続けることが大事です。

から、デジタル家電の部品など大量の需要に対応できるところが弊社の特徴です。

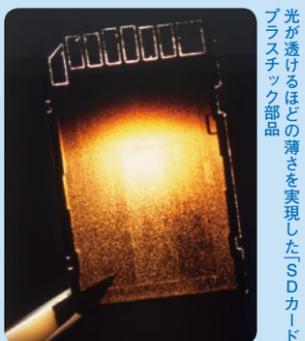
——御社の強みを教えてください。
関：精密部品に必要とされる高い精度と高いクオリティを実現できることです。携帯電話やデジタルカメラの中に入っているプラスチック製の機構部品を作っていますが、十分な精度を保ちながら大量生産できるのが弊社の強みです。

そのコア技術は金型にあり、耐久性は他社に負けません。他社の金型が200万個で使用不能になるとしたら、弊社の金型は、その約3倍の耐久性があります。金型の設計・加工に関するノウハウと成形に関する高い技術を持ち合わせていますから、トータルなバランスが優れているのです。精度とクオリティの高さを技術基盤にして、毎月1億個、年間12億個の部品を製造しています。

実際にはどのような部品を作っているのですか。

関：たとえば、折りたたみ式の携帯電話の折り曲げる部分をヒンジと言いますが、そのプラスチック部品では世界で約5割のシェアがあります。また、DVDレコーダーにはディスクの信号を読むためのビックアップという部品があるのですが、そこにも弊社が製作した部品が使用されています。

ほかにデジタル家電の精密な機構部品を製作しており、日本にあるほとんどの家電メーカーに部品を納入しています。そのほかに腕時計や自動車、通信分野の部品も扱っています。



光が透けるほどの薄さを実現した「SDカード」プラスチック部品

新入社員の配属は研修マッチング制度

——新入社員はすべての部署で研修を受けると聞きましたが。
関：はい。新入社員は全部署で1週間から2週間の研修を受けて、3ヶ月の研修期間を過ごします。研修が終わった時点で、新入社員は自分が志望する部署を、各部署の責任者は来てほしい新人の名前をあげます。それでマッチングすれば、その部署へいくわけです。新人も自分を選んでもらうために一所懸命やるし、受け入れる部署も志望されるように努力しますから、研修が充実します。ほとんどのケースで、第一志望が一致しますね。

新卒採用は3年目になりますが、今後も業績にかかわらず毎年、5人以上採用する予定です。会社を安定して成長させていくために、新しい人材を連続して受け入れる必要がありますから。

海外展開を進め、国内では新ビジネスを開拓

——今後のビジョンを教えてください。
関：10年後には精密プラスチック部品の分野において世界的なリーディ

——創業して半世紀ほど経過しましたが、その間に大きな変化があったのですか。
関：面白いことに、50年前にもレコー

ドプレーヤーのビックアップの部品を作っていたんです。通信関連では黒電話の部品も作っていました。当時も通信やオーディオ関連で使われる精密な最新製品の部品を作っており、それが現在にも受け継がれています。また、プラスチック成形をするメーカーは、大小のサイズの製品を作りますが、弊社は1970年代の第一次オイルショックを経て、小さいサイズの製品に特化するようになり、それが現在の成長につながったのです。

あきらめずに頑張れば、なんとかなる

——ところで、関社長はMBAを取得されたそうですね。
関：国際大学(大学院)で2年間勉強してMBAを取得しました。授業がすべて英語で、最初はきつかったですね。全く内容がわからなくて泣きそうでした(笑)。生徒も教員も半分以上は外国人でしたから、コミュニケーションをとるのが大変で、そのときにコミュニケーションの重要さを知りました。おかげで、今では世界のどこへ行っても友人がいます(笑)。

海外での経験が今、役に立っているということですが。

関：卒業旅行でロシア旅行に行ったのですが、そのとき帰りのチケットを無くしてフロント大変でした。チケットは現地の旅行会社と半日間折衝して、なんとか再発行してもらいました。

これから就職活動をする学生にアドバイスをお願いします。

関：第一に直感を大事にしてほしい。相性が大事という点では、会社を選択するのも恋人を選ぶのと似たところがあります。一目惚れということもありますから、直感を大事にしてください。

また、日本企業にとってモノづくりは最も世界レベルに近い産業ですから、多くの若い人が世界を目指してモノづくりにチャレンジしてもらいたい。チャンスはいくらでもあります。頑張ってください。

※ MBA (Master of Business Administration) 一般に「ビジネススクール」呼ばれる経営学(修士課程)修了者に与えられる学位のこと。

会社概要 株式会社エイテックス

所在地 ● 新潟県南魚沼市九日町2845
創業 ● 1957年9月 設立 ● 2002年3月
資本金 ● 1000万円 事業内容 ● 精密プラスチック金型設計・製作、エンジニアリングプラスチック成形加工、自動機及び精密治具製作 従業員数 ● 150名
関連会社 ● 八海クリエイツ株式会社、Hakkai Precision (Thailand) Co., Ltd
URL ● http://www.hakkai.jp



就職情報はコチラ